



宇大スタンダード+α

『とても役に立っている』『概ね役に立っている』の合計値

『在学中に身についたと感じ、実社会に役立っていると感じている力』は、「学修力」「情報活用力」「論理的思考力」と答えた方が多く、「専門分野に関する知識・技能」については、どの学系も他の5つの力に比べ、「役立っている」と感じている方が少ないという結果でした。

■国際学部・国際学研究科 ■教育学部・教育学研究科 ■工学部・工学研究科 ■農学部・農学研究科

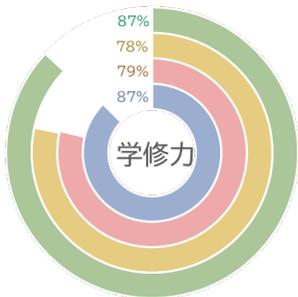
宇都宮大学

UTSUNOMIYA UNIVERSITY

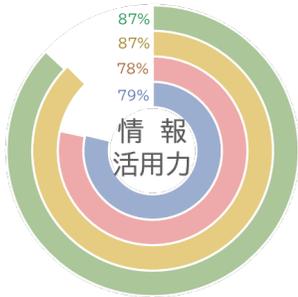
令和4年度

卒業生・修了生アンケート結果報告

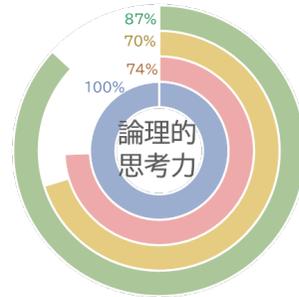
実社会に生きる 在学中に得た「力」



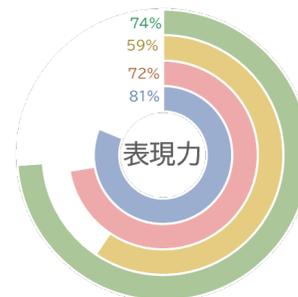
一人称で物事を捉え自ら行動し進んで新しい知識・能力を身に付けようとする力
変化に対応し、自らを変えようとする力



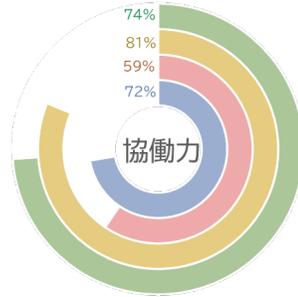
情報及び情報手段を主体的に選択し活用する力



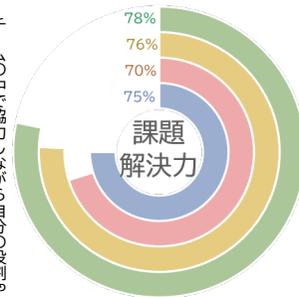
筋道を立てて論理的に物事を考える力



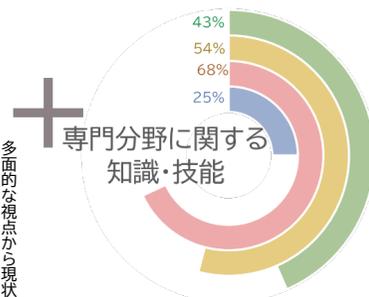
感情や思考など伝達可能な形式に表し、効果的・印象的なものとして伝える力



チームの中で協力しながら自分の役割や責任を果たす力、多様なとつながりや協働を生み出す力



多面的な視点から現状を分析し、目的や課題を明らかにする力、課題解決に向けた計画を立案し、自律的に取り組む力



本学の卒業生及び修了生の活躍している地域や分野における就労状況等の実態及び本学の教育活動等において身についた力、実社会で役立っている活動、改善点等の把握を行い、教育改善の取組に活用することを目的とし、平成31年3月学部卒業生(本学大学院進学者を除く)及び大学院修了生(本学大学院博士後期課程進学者を除く)にインターネット調査を行いました。ここでは、アンケート結果の一部について、簡単にご紹介させていただきます。

調査対象

調査対象:

平成31年3月学部卒業生(本学大学院進学者を除く) 666人
大学院修了生(本学大学院博士後期課程進学者を除く) 333人
計 999人

調査期間:

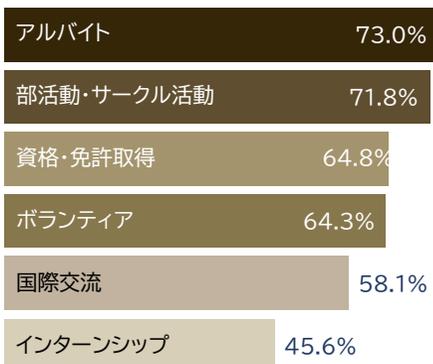
令和4年8月8日(月)10時~
令和4年9月9日(金)17時

回収状況:

卒業生 95人
修了生(MC) 27人
修了生(DC) 2人
計 124人

学生時代の経験

『とても役に立っている』『概ね役に立っている』の合計値



在学中に経験した活動で実社会に最も役に立っている項目は「アルバイト」でした。理由としては、「働く事に対する基礎のようなものを身につけられたと思うから」「アルバイトで得た周りの人と関わる力は現場でも役に立っている」「サークルやアルバイト先で得た人との交流が職場で役に立っている」等が挙げられています。

教育活動等で役立っている点

自由記述の概要

本学の教育活動等で役立っている点の自由記述内から学生の関心度が高い単語を抽出しました。最も使用頻度の高かったものは「英語」、次いで「研究」「教育」「知識」という結果でした。本学の特色の一つであるEPUU英語プログラムのスキル定着や「研究」「教育」を通しての基本的な思考力等の能力定着が挙げられていました。

教育活動等で改善すべき点

自由記述の概要

本学の教育活動等で改善すべき点の自由記述内から学生の関心度が高い単語を抽出しました。最も使用頻度の高かったものは「授業」で、次いで「学生」「英語」という結果でした。カリキュラムに関する単語が多く、専門的な知識はもちろんのこと英語等についても、実践に基づき社会に活かせる内容を多く求めていることがわかりました。

平成 31 年 3 月宇都宮大学卒業生・修了生アンケート実施結果

〔アンケートについて〕

本調査は、本学の卒業生及び修了生の活躍している地域や分野における就労状況等の実態及び本学の教育活動等において身についた力、実社会で役立っている活動、改善点等の把握を行い、教育改善の取組に活用することを目的としている。

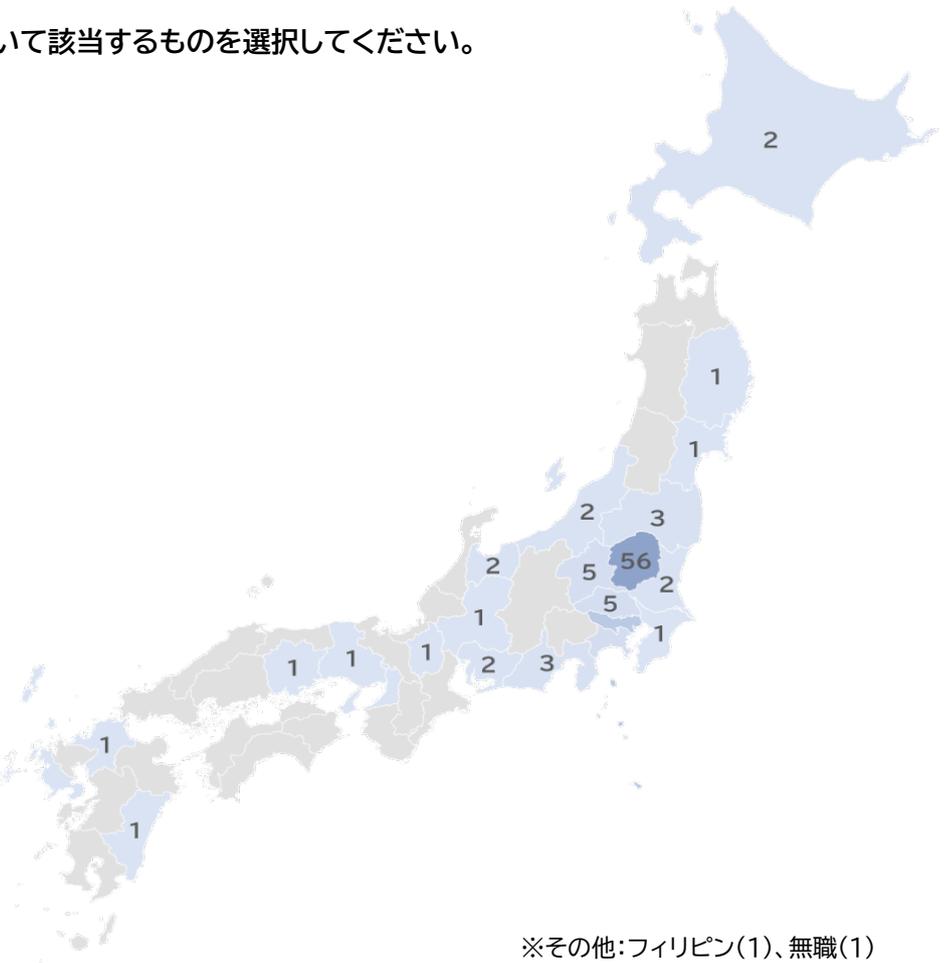
本年度のアンケートの対象者は、平成 31 年3月学部卒業生(本学大学院進学者を除く)666 名及び大学院修了生(本学大学院博士後期課程進学者を除く)333 名の計 999 名とし、調査対象者(教務システム登録済アドレス)あてに、Microsoft Forms によるインターネット調査(令和4年8月8日(月)10 時 ~ 令和4年9月9日(金)17 時)を行ったところ、124名から回答を得た。

所 属 学 部 等	調 査 対 象 者 数	回 答 者 数	回 答 率
国際学部	112	14	12.5%
教育学部	203	43	21.2%
工学部	183	25	13.7%
農学部	168	13	7.7%
国際学研究科(MC)	18	1	5.6%
教育学研究科(MC)	31	4	12.9%
工学研究科(MC)	219	12	5.5%
農学研究科(MC)	52	10	19.2%
国際学研究科(DC)	3	2	66.7%
工学研究科(DC)	10	0	0.0%
合 計	999	124	12.4%

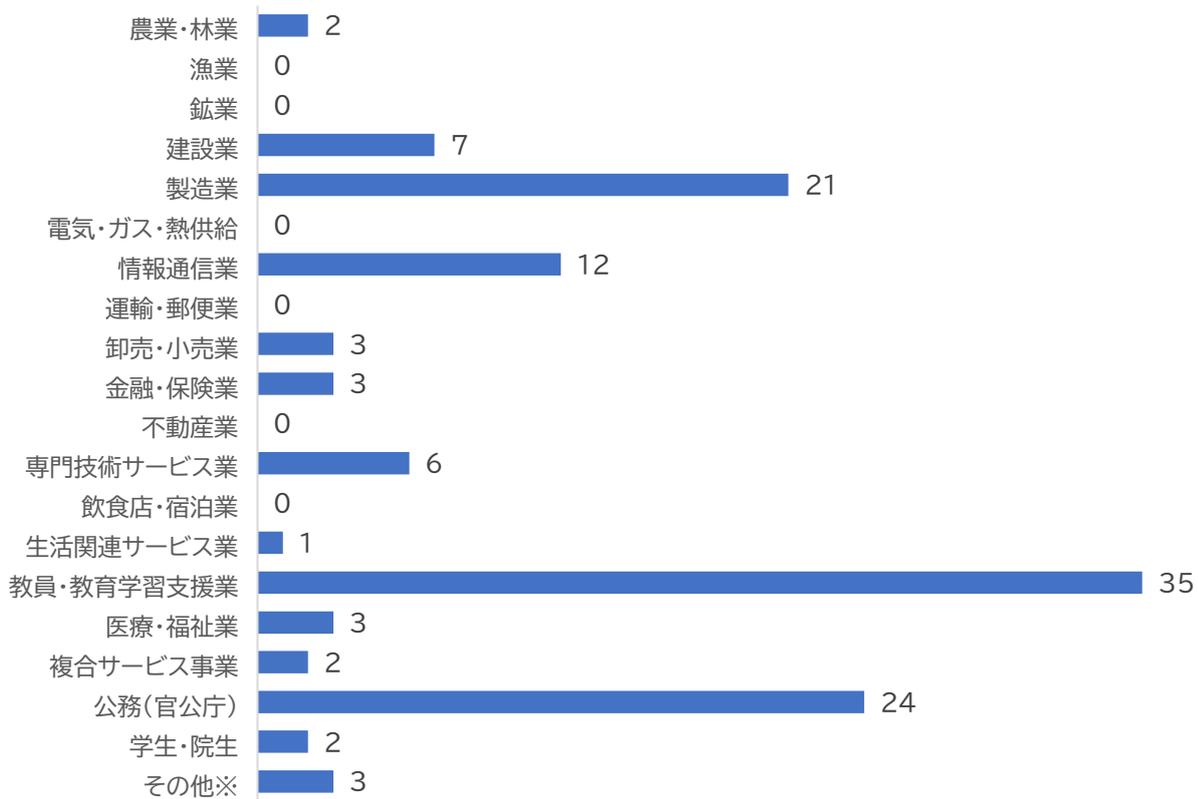
〔アンケート結果〕

●現在の勤務地等の所在地について該当するものを選択してください。

都 道 府 県	回 答 数
北 海 道	2
兵 庫 県	1
福 島 県	3
福 岡 県	1
富 山 県	2
栃 木 県	56
東 京 都	23
長 崎 県	1
大 阪 府	1
千 葉 県	1
静 岡 県	3
神 奈 川 県	6
新 潟 県	2
滋 賀 県	1
埼 玉 県	5
群 馬 県	5
宮 城 県	1
宮 崎 県	1
岐 阜 県	1
岩 手 県	1
岡 山 県	1
茨 城 県	2
愛 知 県	2
そ の 他 ※	2
総 計	124

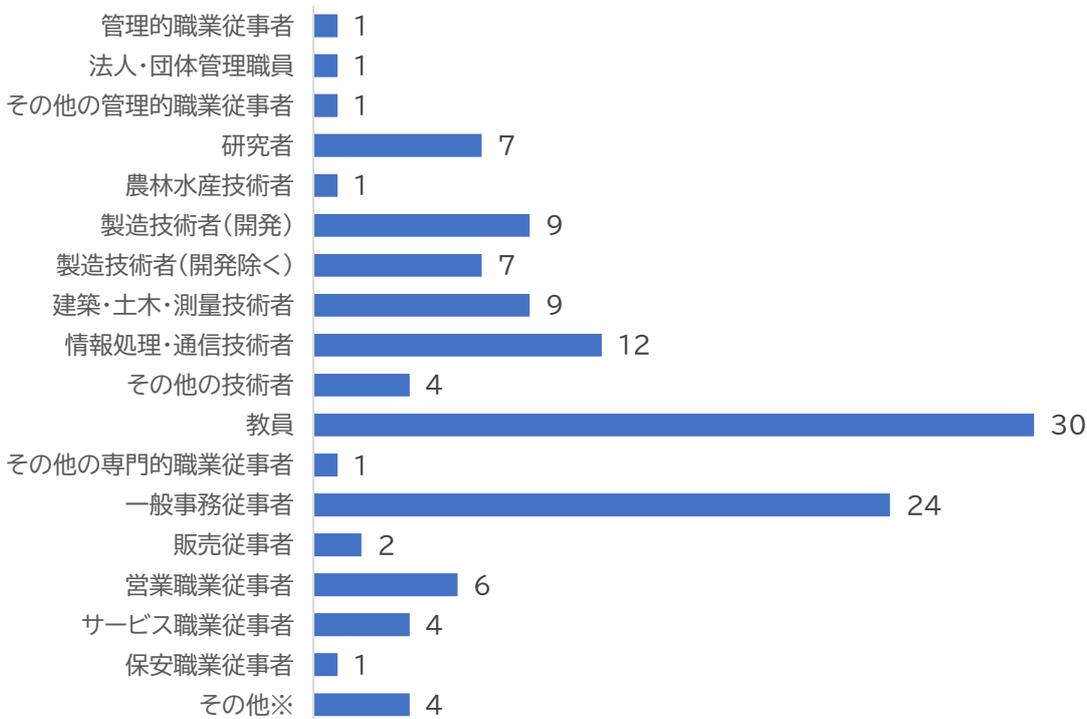


●勤務先等の主たる業種について、該当するものを選択してください。



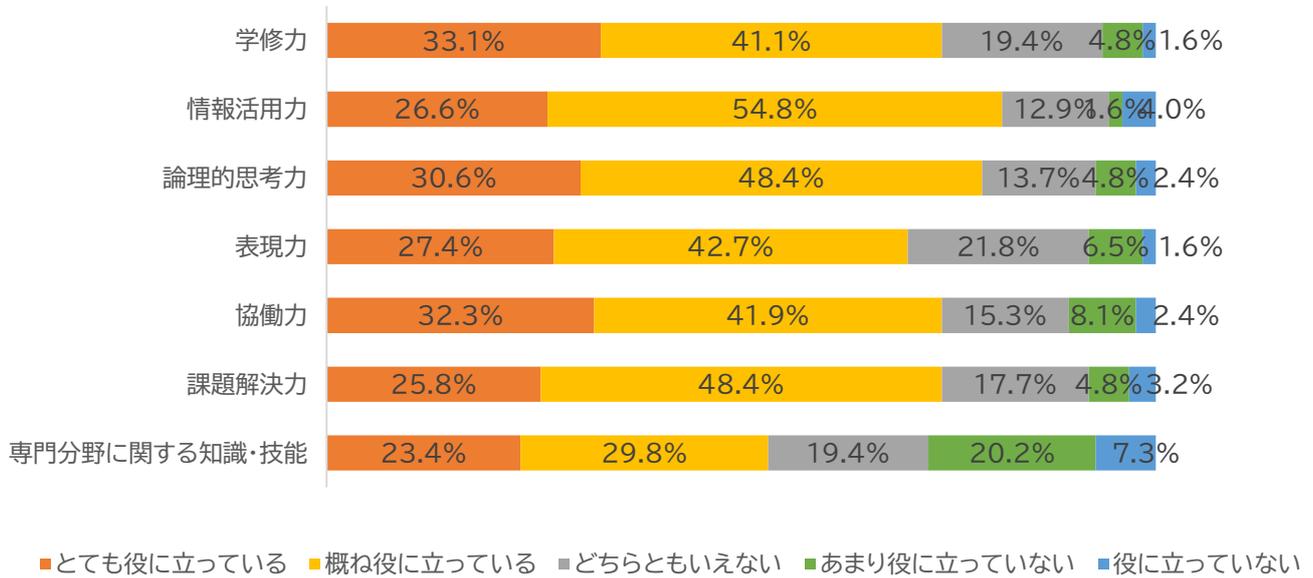
(人) ※その他:人材紹介業(1)、無職(2)

●現在の職種について、該当するものを選択してください。



(人) ※その他:学生(2) 無職(2)

●在学中(大学院修了者は学部時代を含む)に身についたと感じる力で、実社会において『どの程度役に立つか』該当する項目を選択してください。



●在学中(大学院修了者は学部時代を含む)に経験した活動で、実社会において『どの程度役に立つか』該当する項目を選択してください。

